

# 【モビリティと人の移動による地域活性】 ワーケーションとMaaSの相乗りによる活性化

## 基調講演

国際経済研究所 非常勤フェロー 宮代陽之



## パネルディスカッション



宮代陽之



トヨタ九州次世代事業室  
植野直亮



SUNABACO  
中村まこと



# 3/4 18:30~

熊本県企業誘致×SUNABACO

桜十字ホールやつしる  
大会議室

# 入場無料

地方や郊外において移動の不便が増大することはさらなる人口減少を招き、コミュニティが維持できない問題につながりかねません。そこで、最新のテクノロジーやサービスを導入することでコストを抑えつつ、必要最低限の移動手段を確保しようとする地方版MaaSが必要になってきます。

そのなかで、新しい働き方として定着しつつあるワーケーション 誘致と組み合わせることで「地域でのビジネス創出」「ICT人材の集積」「地域の魅力発信」のほかにも「少子高齢化が進む地方において、多様かつ継続的につながる関係人口が創出できる」など地域再生と相乗効果が期待できます。

【モビリティと人の移動による地域活性】ワーケーションと地方型MaaSの相乗りによる活性化をモビリティと都市の関りを専らみている宮代陽之さん、トヨタ九州次世代事業室植野直亮さんをゲストに考えていきたいと思ひます。

## 宮代陽之

国際経済研究所 非常勤フェロー

1983年に工販合併後第1期としてトヨタ自動車株式会社に入社、海外営業法務・渉外を皮切りに、広報全般(企業・商品・技術)や営業・事業企画などを担当。海外勤務は米国留学、欧州・トルコ駐在を経験。2008年夏より国際経済研究所にて調査研究生活をスタート。中東・アフリカ・イスラームの担当に加え、10年前からモビリティと都市・社会の関係とその変化に注目し、内外動向調査・分析を行う。現在はMaaSやスマートシティの日本での実装・実践に関する課題や機会について頭を悩ませる日々を送っています。

